



小布施

ココロ

あそび

2016 秋

桜井  甘精堂

収穫と仕込み



食べ頃になった栗の穂は、ぱっくりと割れ、艶やかな実をのぞかせる…。その姿を地元では、栗が「笑んでる」と言います。微笑んでる、の「えんでる」。

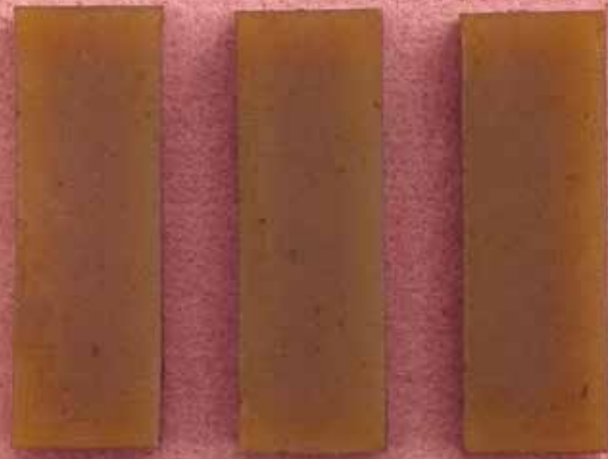
今、栗畑には笑みがいっぱい。のどかな風景ですが、栗農家にとっては最も忙しい季節。一家総出、知人、友人も総動員で栗拾いです。のんびりしていると風味が落ち、虫も出るので、収穫期は目の回るような忙しさ。その栗を仕込む、私たちも同じです。

600年前、丹波出身の領主が、故郷から栗の木を取り寄せて植えたのが始まりと言われています。晴天が多く、1日の寒暖差が大きい気候。水はけの良い酸性の土は、将軍家に献上するほど上質な栗を育みました。

その栗を初めてお菓子にしたのが、初祖・桜井幾右衛門。文化5年(1808)のことです。以来、栗菓子一筋。すべては「栗の風味を生かすため」。栗餡もあえて、なめらか過ぎないようにし、渋皮が交じること。

「お菓子としては上等ではないかもしれませんが。うちは菓子屋ではなく、栗屋ですから」と九代目・桜井昌季。

新栗は蒸して潰して、砂糖と混ぜ、1年分の栗餡に。甘い香りが漂う、小布施の秋です。



純栗ようかん

材料は「栗、砂糖、寒天」だけ。シンプルだからこそ、200年の伝統の技が光る、自慢の味です。



彫文九里絵平鉢

北大路魯山人(きたおおじろさんじん)/作
直径256mm、高さ35mm 黄瀬戸



せんせきてい
[泉石亭]
■営業時間
10:30
~18:00(L.O.)
■無休

黄瀬戸の色合いに心惹かれた七代目・桜井佐七(現会長)が約40年前にもとめたもの。栗(九里)の実が入った毬、枝や葉を、線の切り込みで描く「線刻」で表現している。

安土桃山時代、瀬戸や美濃では、武士に茶の湯の文化が広まるとともに、黄瀬戸、織部、志野、瀬戸黒など「桃山陶」が焼かれた。それを昭和になって再現した1人が魯山人。陶芸家、篆刻家、画家、漆芸家、書道家、料理家、美食家などさまざまな顔を持つ彼ならではの世界を、ぜひ泉石亭ギャラリーでご覧ください。

01

SAKURAIKANSEIDO 人

「これだけの土地があれば、2店舗はできますよね。でも、そうはせず、こんなに心安らぐ庭にする。それが、商店だけの町とは違う、余白、奥行きを作っていると思います」。泉石亭の苔むした庭を眺めながら大宮さんは言った。

全国から若者が集まり、地方の新しい未来を夜通し議論する「小布施若者会議」の運営、国や企業との折衝など、小布施の将来を見据えて、日本各地、世界を飛び回る。

「家に帰って、純栗ようかんがあると、その真っ直ぐな味に『あー、やっと着地した〜』って感じで、疲れが取れます」。端正な顔立ちに、瞬間、子どものような笑みが浮かんだ。

大宮 透 [おおみや とおる]

1988年 群馬県高崎市生まれ。小布施町在住。
東大大学院工学系研究科修了。慶応SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター 研究員。



紹介者：本店・清水律子(しみず・のりこ)
出身は飯山市です。勤務して5年、趣味は旅行、コミックと映画の鑑賞です。



「老舗の一端を担っている」という緊張感があります。地元のお客様も多く、お声掛けいただけるとうれしくなります。「お土産で頂いて気に入り、小布施にきました」という観光のお客様もよくいらっしゃり、ありがたいですね。

秋の私のおすすめは、新栗を使った「茶巾しぼり栗きんとん」。手作業のため、数量限定販売で、午前中で完売してしまうことも。新栗ならではの豊かな風味をぜひ召し上がってください。10月中旬までです。9月中旬から約1カ月、本店広場では拾ったばかりの小布施栗をその場で焼いて販売します。この香ばしい匂いがすると、小布施は秋、真っ盛りです。



■営業時間8:30~18:00 ■無休 ■小布施駅から徒歩で7~8分

1/8 shop LIST

本店	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施774 TEL.026(247)1088	栗の木テラス	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施784 TEL.026(247)5848
泉石亭	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施779 TEL.026(247)5166	ながの東急店	〒380-8539 長野市南千歳1-1-1 ながの東急地階 TEL.026(229)9707
カフェ茶蔵	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施779 TEL.026(247)5601	MIDORI長野店 甘味屋幾右衛門	〒380-8543 長野市南千歳1-22-6 JR長野駅MIDORI長野2階 TEL.026(219)6141
北斎亭	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施810-3 北斎館よこ TEL.026(247)5740	軽井沢店	〒389-0103 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1番地12 C号室 TEL.0267(42)9966

小布施へのアクセス

お車で	上信越自動車道 「小布施スマート(ETC専用)IC」から5分 「信州中野IC」から7分 「須坂長野東IC」から15分	電車で	[東京駅から]北陸新幹線(約1時間45分)→長野駅 [新大阪駅から]東海道新幹線(約55分)→名古屋駅→特急しなの(約3時間)→長野駅 [金沢駅から]北陸新幹線(約1時間)→長野駅 →「長野駅」からは[長野電鉄]特急で最短22分→小布施駅
-----	---	-----	--

[VOL.1] お話：桜井甘精堂・七代目 桜井 佐七

原風景にあそぶ

この辺りを、私は小布施の『原風景』だと感じています。

子どもの頃、夏になると近所のガキ大将に連れられて、千曲川までよく水遊びに行きました。栗林を抜けていくのですが、その頃の栗の木は本当に大きくてね、15メートルにもなる。自分が小さいから、なおのこと大きく感じたのでしょう。栗林を抜けると、北信五岳※と言われる斑尾、妙高、黒姫、戸隠、飯縄の山々が見渡せる場所に出るのですが、その姿を見ると、川まであと少しと胸躍るとともに、雄大な美しさに圧倒されたことを今もありありと思い出します。

旧制須坂中学へもこの道を仲間と徒歩通学でした。片道4キロ。水泳部にも入っていたので、帰り道、空腹に耐えられなくなると桑畑に飛び込んで、桑の実を食べるのですが、口が紫色になるので、よく母に叱られました。

昔は男女別学。道草しながら歩く自分たちと女生徒が、一本道で抜きつ抜かれつになる。前を通り過ぎる彼女たちの、恥ずかしそうな佇まいも臉に焼き付いています。



“佐七少年”が見上げた頃と変わらない黒姫山と妙高山。手前にはりんごやぶどうの畑が広がる。(本社屋上から撮影)

※北信は長野県の北部地方の呼び方

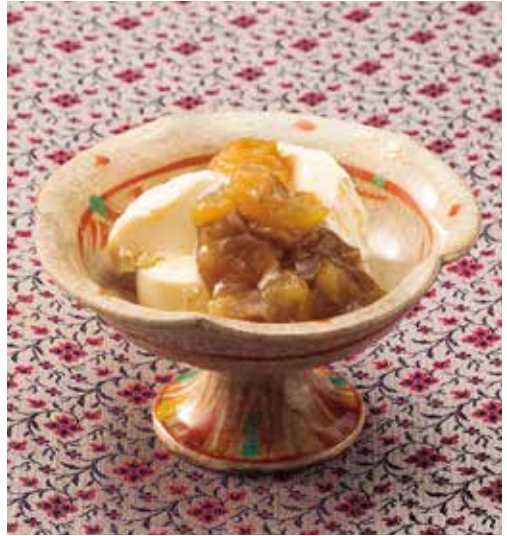
My Arrange 



アイスクリームの 純栗かの子がけ

- ①純栗かの子の栗をスプーンで少し砕き、ブランデーかラム酒を適量。
- ②栗餡ごとよく混ぜ、バニラアイスクリームにかける。

洋酒の豊潤な香りにも負けない濃い栗の風味が、バニラのまろやかさと相まって、極上のデザートに。



募集

弊社商品のお気に入りの召し上がり方を募集しております。レシピと写真に、お名前、年齢、ご住所、連絡先を明記し、桜井甘精堂本社企画室「私のお気に入り」係、またはplanning@kanseido.co.jpまでご応募ください。採用させて頂いた方には、弊社商品詰め合わせをプレゼントいたします。

小布施をもっと愉しむ イベント



ント

2016.9月~11月

北斎館開館40周年記念特別展

「氏家コレクションー肉筆浮世絵の美」

9月17日~11月15日 故氏家武雄氏は、浮世絵師が自ら絵筆で描いた「肉筆浮世絵」の著名な蒐集家。菱川師宣をはじめ、懐月堂安度、宮川長春、喜多川歌麿、勝川春章、葛飾北斎、歌川広重など50点を展示します。

小布施六斎市 10月15・16日

大目通りを歩行者天国にし、農産物の収穫祭や骨董市、各種ステージイベントなどにもぎやかに行われます。

おぶせ栗祭り

10月29日新栗と栗菓子をお宮に奉納し、収穫に感謝する神事(9時~)を行います。小布施栗の歴史や種類などのレクチャー、焼き栗の食べ比べ、栗のつかみ取りなども。各イベント10時~16時。手筒花火18時。

菊花展 11月1日~10日

小学6年生から愛好家までが、北斎の「菊図」のモチーフの菊「巴錦」を丹精込めて育てました。皇大神社の境内を鮮やかに彩ります。

小布施ココロあそび vol.1 2016年9月発行

桜井甘精堂本社企画室

〒381-0298 長野県上高井郡小布施町2460-1

Tel.026-247-2132 Fax 026-247-5142 mail: planning@kanseido.co.jp